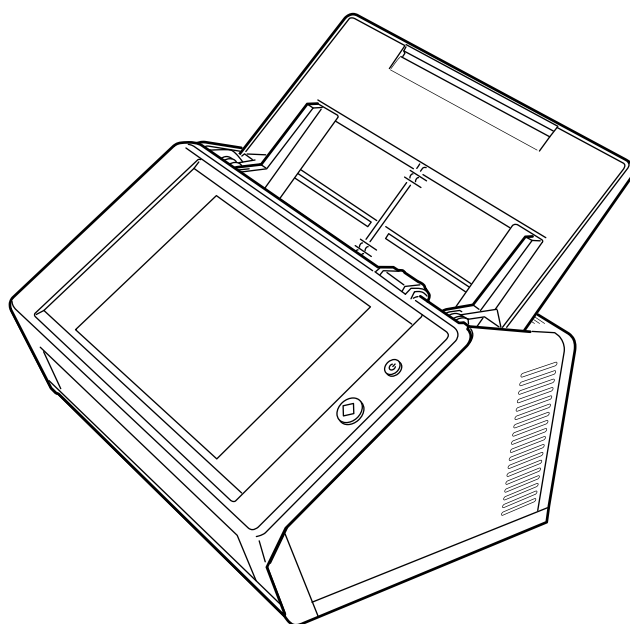


RICOH

N7100E

スタートアップガイド



目次

はじめに	4
■ マニュアル	4
■ 本書の読み方	5
■ 警告表示	5
■ 安全にお使いいただくために	5
■ 使用上のご注意	7
■ 免責事項	7
■ 各種規格	8
■ 故障・修理	8
■ リサイクル	8
第 1 章 お使いになる前に	9
1.1 導入から運用までの流れ	9
1.2 梱包品を確認する	9
1.3 各部の名称	10
■ 前面	10
■ 背面	10
1.4 スキャナ上のマーク	10
■ 前面	10
■ 背面	10
第 2 章 スキャナを設置する	11
2.1 保護用部材を取り外す	11
2.2 スキャナを接続する	11
第 3 章 導入設定をする	12
第 4 章 ネットワークへの接続状態を確認する	15
第 5 章 マニュアルをダウンロードする	16
付録 A 困ったときには	17
A.1 ネットワーク通信ができない	17
■ Ping 結果とその対処について	17
■ IP アドレス指定でスキャナから各サーバにネットワーク通信ができない	18
■ ホスト名または FQDN 名指定で、スキャナから各サーバにネットワーク通信ができない	19
■ Internet Explorer・Admin Tool・Central Admin Server・User Editor からスキャナにアクセスできない	19
A.2 電源が入らない	21
A.3 ログインできない	21

修理・お問い合わせ	22
■ 修理サービスのご案内	22
■ お問い合わせ窓口	22
■ サプライ用品の購入先	22
コピーライト	23

はじめに

このたびは、Image Scanner N7100E（以降、スキャナと呼びます）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このスキャナは、ネットワーク接続型イメージスキャナです。ネットワークでつながるオフィスのワークグループで使用し、オフィス業務に最適なワークフローをやさしい操作性で実現します。

2023年6月

お願い

- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責任を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

商標および登録商標

Microsoft、Internet Explorer、および Windows は、マイクロソフトグループの企業の商標です。

Adobe、Acrobat、および Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

開発・販売元

株式会社 PFU

〒220-8567

神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-4-5

（横浜アイマークプレイス）

© PFU Limited 2019-2023

■ マニュアル


マニュアルの種類

スキャナをお使いになるときは、以下のマニュアルを必要に応じてお読みください。

マニュアル	内容
N7100E スタートアップガイド (本書) (紙)	スキャナを安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。 また、スキャナの設置から運用開始までの手順を説明しています。 最初にお読みください。 本書では、「スタートアップガイド」と略記しています。
N7100E オペレーターガイド (PDF)	スキャナの概要、基本的な操作方法、日常のお手入れ、消耗品の交換、およびトラブルの対処方法を説明しています。 本書とあわせてお読みください。 本書では、「オペレーターガイド」と略記しています。
N7100E ヘルプ (HTML)	画面の項目説明、およびメッセージの対処と意味について説明しています。必要に応じてお読みください。
Scanner Central Admin ユーザーズガイド (PDF)	Scanner Central Admin の概要、導入方法、運用方法、保守方法を説明しています。必要に応じてお読みください。

マニュアルの参照方法

- マニュアルは、スキャナからダウンロードして参照できます。
なお、オペレーターガイドのダウンロード方法は、「第5章 マニュアルをダウンロードする」(P.16)を参照してください。
- ヘルプは、操作中に表示される画面の [ヘルプ] ボタンが有効なときは、[ヘルプ] ボタンを押してヘルプを参照できます。

なお、タッチパネルの場合は、 のヘルプボタンが表示されます。

■ 本書の読み方

連続する操作の表記

本文中の操作手順で、連続する操作手順を「→」でつなげて記載しています。

例：「スタート」メニュー→「コンピュータ」を選択します。

本書に掲載している画面

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

オペレーティングシステムによって、表示される画面および操作が異なる場合があります。表示された画面が、本書に掲載している画面と異なる場合は、実際の画面に従って操作してください。

本書での略記

本書では、以下の名称について省略して記載しています。

本文中の表記	名称
Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer® Windows® Internet Explorer®
Adobe Reader	Adobe® Reader®
	Adobe® Acrobat® Reader® DC
スキャナ	Image Scanner N7100E
Admin Tool	Network Scanner Admin Tool
Central Admin Console	Scanner Central Admin Console
Central Admin Server	Scanner Central Admin Server
User Editor	Network Scanner User Editor

■ 警告表示

本書では、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するために、以下のような表示をしています。



警告

この表示は、取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示は、取り扱いを誤った場合、軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。



三角で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を示す絵が描かれています。



丸に斜線で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。



黒塗りの丸に白抜きで示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。

■ 安全にお使いいただくために

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要な事柄が記載されています。本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。特に、以下に記載されている内容をよく理解されたうえで本製品をお使いいただくようお願いします。

また、本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるように、大切に保管してください。

なお、以下の警告事項において電源ケーブルは、AC ケーブルと AC アダプターを接続したものを含みます。



警告














電源ケーブルは手が届く位置のコンセントに接続し、以下のような場合には、直ちに電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災、やけど、けが、感電の原因となります。

- スキャナを落下させた場合やカバーなどを破損した場合
- スキャナから発煙したり、スキャナの外側が異常に熱くなった場合
- 異常な音がする、異臭がする場合
- スキャナ内部に異物（水やコーヒーなどの液体、クリップなどの金属片）が入った場合
- AC アダプターにひび割れなどの破損が生じた場合
- そのほか、故障かな？と思った場合











スキャナを分解したり、改造したりしないでください。

	電源ケーブルをコンセントに確実に接続してください。確実に接続しないと、火災や故障の原因となります。
	表示された電源電圧以外では使用しないでください。また、たこ足配線をしないでください。火災や感電の原因となります。
	必ずスキャナに添付の電源ケーブル（ACケーブルとACアダプター含む）を使用してください。延長コードは使用しないでください。異常な発熱や火災の原因となります。また、スキャナに添付の電源ケーブルをほかの製品に使用しないでください。感電や故障の原因となります。
	薬品、芳香剤、消臭剤、化粧品、洗剤などをスキャナ、ACアダプターの周囲に置かないでください。プラスチックに付着すると、劣化やひび割れが発生し感電の原因となります。付着したときは、すぐにふき取ってください。
	以下のような高温、多湿の場所や換気が悪くほこりの多い場所には、スキャナを設置、使用しないでください。高温によってカバーなどが過熱、変形、溶解する原因となったり、漏電や火災の原因となることがあります。 通気性、換気性の良い場所で使用してください。 ● ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所 ● 台所などの油煙が発生しやすい場所 ● 風呂場、シャワー室、プールなどの水場 ● 直射日光の当たる場所、炎天下の車内、暖房機の近くなど、高温になる場所 ● 布や布団のようなものがかぶさって、熱がこもりやすくなる場所
	スキャナを移動する場合は、スキャナに接続されているケーブル類を外してください。また、足元に十分注意して移動作業をしてください。ケーブルを接続したままスキャナを移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。また、ケーブルが移動作業の妨げとなり、けがの原因となります。
	濡れた手で、電源ケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因となります。 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
	破損した電源ケーブルを使用しないでください。また、コンセントの差し込み口がゆるいときも使用しないでください。火災や感電の原因となります。 電源ケーブルを取り扱うときは、以下の点に注意してください。 ● 濡らしたり、加工したり、結んだり、束ねたり、巻きつけたりしない ● 重いものを載せたり、ドアなどにはさんだり、落下させたり、衝撃を与えたりしない ● 引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしない ● 電源ケーブルのプラグに金属を近づけない
	歯車やローラーなどの可動部に衣服の袖、ネクタイ、ネックレス、または髪などが巻き込まれないようにしてください。けがの原因となります。

	温度が高くなる場所（スキャナ底面やACアダプターなど）に長時間直接接触して使用しないでください。低温やけどの原因となります。
	長時間スキャナを使用しないときは、安全のため必ず電源ケーブルをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。

注意

	スキャナのどの部分も机から突き出さないように設置してください。 また、スキャナが傾かないように、振動の少ない、平らな場所に置いてください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
	小さいお子様の手の届く所に設置しないでください。けがの原因となります。
	近くで雷が起きたときは、スキャナの電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。そのあと、スキャナに接続されているケーブル類を外してください。そのままにしておくとスキャナを破壊し、お客様の財産に被害をおよぼす原因となります。
	通気孔をふさがしないでください。通気孔をふさぐとスキャナ内部が高温になるため、火災や故障の原因となります。
	スキャナの上に重いものを置いたり、スキャナの上で作業したりしないでください。故障やけがの原因となります。
	紙やA3キャリアシートを取り扱うときは、紙やA3キャリアシートの縁で手を切るなどのけがをしないように注意してください。
	清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコールなどを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、ほこりなどがスキャナ内部に侵入し、故障やスキャナの異常の原因となることがあります。また、静電気などによるスパーク（火花）によって引火するおそれがあります。
	1か月に一度は、以下のような点検をしてください。定期的な点検をしないと、火災の原因となる可能性があります。 ● 電源ケーブルがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ● 電源ケーブルに、異常な発熱、サビおよび曲がりなどはありませんか。 ● 電源ケーブルおよびプラグに細かいほこりが付いていませんか。ほこりが付着している場合は、柔らかい乾いた布でよくふいてください。 ● 電源ケーブルに、き裂や擦り傷などはありませんか。

■ 使用上のご注意

本製品として提供されるマニュアル、スキャナ本体、およびその添付ソフトウェアは、お客様側の責任で使用してください。

本製品のご使用によって発生する損害やデータの損失については、当社では一切責任を負いかねます。

また、本製品の障害の保証範囲は、どんな場合も本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。あらかじめご了承ください。

本製品にて提供される添付ソフトウェア、および本製品用として当社から提供されるアップデート用ソフトウェアは、本製品に組み込んで使用する以外の使用方法、および改造または逆コンパイルや逆アSEMBルなどの何らかのリバースエンジニアリングを行うことについて一切許可していません。

複製について

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、公共団体や民間団体の発行の免許証、許可書、公文書、私文書などをスキャナを利用して読み取り、プリンターで印刷するなど、不正に複製すると、その印刷物の使用の如何にかかわらず、法律に違反し罰せられます。

関連法律

刑法 第148条、第149条、第162条

通貨及証券模造取締法 第1条、第2条など

- 書籍、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内のそのほか、これらに準ずる限られた範囲内で使用する用途以外は、権利者の許可なしに複製することはできません。

本製品の海外への持ち出しについて

本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内専用ですので、日本国内でのご使用ください。海外における使用に関しては、当社は一切その責任を負いません。

本製品の使用について

- 強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避け、床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。静電気によって、スキャナが誤動作することがあります。
- 複写機やシュレッダーのような消費電力の大きい機器と同じコンセントから電源をとらないでください。電源ノイズによって、スキャナが誤動作することがあります。
- 寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させると、スキャナが結露することがあります。そのまま使用すると、読み取り不良の原因となりますので、暖かい部屋に1～2時間放置して、内部が乾いてから使用してください。
- 雨天や降雪時に屋外へ持ち出す場合は、濡らさないように注意してください。そのまま使用すると、読み取り不良の原因となります。万が一スキャナが濡れた場合は、ふき取るか時間をおいて乾いてから使用してください。
- 破損したA3キャリアシートは使用しないでください。スキャナが破損または故障する可能性があります。
- ADF 給紙シュートは奥に倒した状態で使用してください。手前に倒した状態では給紙できません。

液晶ディスプレイの特性について

以下の状態は故障ではありません。あらかじめご了承ください。

- 本製品で使用している TFT カラー液晶ディスプレイは、高精度な技術を駆使して作られていますが、画面上に常時点灯または点灯しないドットが存在する場合があります。
- 液晶パネルはその特性上、液晶変化で明るさや色合いに多少むらが発生することがあります。

バッテリーの交換について

本製品では、BIOS 情報などの保持のため、バッテリー（CMOS RAM のバッテリー）を搭載しています。



警告

- バッテリーは交換しないでください。バッテリーは、間違ったタイプと交換した場合には爆発の危険があります。バッテリー容量がなくなった場合には、当社の担当営業員に連絡してください。
- バッテリーには触れないでください。また、バッテリーの取り付けや取り外しは絶対に行わないでください。感電の原因となったり、人体に発生する静電気によってスキャナに損傷を与える場合があります。

■ 免責事項

スキャン画像の原稿再現性について

スキャナによって原稿を読み取って作られるスキャン画像が、お客様の必要とする精度・品質を満たしていること（例えば寸法精度、情報量、忠実度、色調などの原稿の再現性）をご確認ください。

また、読み取った原稿を破棄するときは、原稿を読み取って作られたスキャン画像を必ず点検したうえでお客様の責任で行ってください。

原稿を読み取って作られるスキャン画像の一部が欠けたり、損失することがあります。その場合は、マニュアルに従って、以下の点に注意してください。

- 原稿の状態（シワ、折れ、穴あきなど）をご確認ください。
- スキャナ内部の清掃をこまめに行ってください。
- 消耗品は定期的にお取り替えください。
- 原稿の状態によっては、原稿の読み取り時にかすれ、ゆがみ、よごれ、欠けなどが発生して、スキャン画像の一部または全部が欠落することがあります。
- スキャナ内部がよごれた状態で読み取りを行うと、原稿の読み取り時にかすれ、ゆがみ、よごれ、欠けなどが発生して、スキャン画像の一部または全部が欠落することがあります。
- 読み取り設定（解像度、画像タイプ、読み取り面、原稿向き補正、白紙ページ削除など）によっては、原稿が以下のように読み取られます。
 - 解像度不足でスキャン画像の文字が不鮮明となる
 - カラー原稿のスキャン画像がグレースケールまたは白黒となる
 - 両面原稿のスキャン画像が片面となる
 - スキャン画像の一部が欠けたり、原稿のサイズと異なるサイズのスキャン画像となる

- 原稿の白紙ページが削除されない、または白紙でないページまで削除される
- 原稿が意図しない向きに読み取られる
- 原稿の状態（シワ、折れ、穴あきなど）または消耗品の状態によって、複数枚の原稿を同時に送り（マルチフィード）、スキャン画像にページ抜けが発生することがあります。
- 原稿が指定内の紙質であっても、原稿の状態（シワ、折れ、穴あきなど）やスキャナ内の紙送り機構・消耗品の状態によって原稿づまりが発生することがあります。この場合、スキャン画像の一部または全部が欠落することがあります。また、原稿づまりによって原稿を損傷することがあります。
- 蛍光マーカーを引いた原稿の場合、蛍光マーカーの色や色の濃度によって、色を再現できない、または色調の再現性が異なることがあります。

■ 各種規格

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書およびオペレーターガイドに従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

高調波ガイドラインについて

本製品は JIS C 61000-3-2 適合品です。JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値（1 相当の入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

■ 故障・修理

スキャナの修理や部品の交換が必要なとき、異変を感じたり、故障かな？と思ったときは、まず、本書の「付録 A 困ったときには」（P.17）またはオペレーターガイドの「困ったときには」を参照し、スキャナの接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。それでも解決しない場合は、スキャナを購入された販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンター（P.22）に連絡してください。

スキャナの修理はお客様自身で行わないでください。スキャナを分解した場合は保証の対象外となり、分解によって発生するどのような損害に対しても当社では一切責任を負いかねます。

■ リサイクル

使用済製品の廃棄とリサイクルについてのお願い

- 個人でご購入のお客様が本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、地方自治体の条例等に従って適切に処理してください。
- 法人、企業のお客様が本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、産業廃棄物扱いで適切に処理してください。

第1章 お使いになる前に

1.1 導入から運用までの流れ

スキャナの導入から運用までの操作の流れは、以下のとおりです。

本書では、下記の1～5を説明しています。

6～9は、5でダウンロードしたマニュアルを参照してください。

1 | 梱包物の確認

⇒「1.2 梱包品を確認する」(P.9)

2 | スキャナの設置

⇒「第2章 スキャナを設置する」(P.11)

3 | スキャナの導入設定

⇒「第3章 導入設定をする」(P.12)

4 | ネットワークへの接続確認

⇒「第4章 ネットワークへの接続状態を確認する」(P.15)

5 | マニュアルのダウンロード

⇒「第5章 マニュアルをダウンロードする」(P.16)

6 | Admin Tool のインストール

⇒オペレーターガイド参照

7 | 読み取りテスト

⇒オペレーターガイド参照

8 | 使用する機能の設定

⇒オペレーターガイド参照


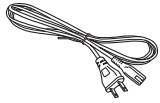
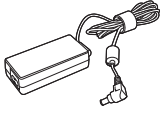

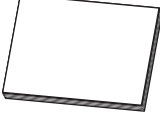
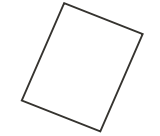

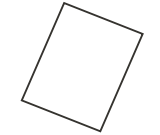
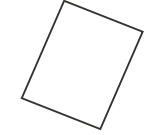
9 | 運用

⇒オペレーターガイド参照

1.2 梱包品を確認する

梱包箱を開けたら、以下の梱包品がすべてそろっていることを確認してください。そのほかの梱包品がある場合はそれらも一緒に大切に保管してください。なお、梱包品は丁寧に取り扱いってください。

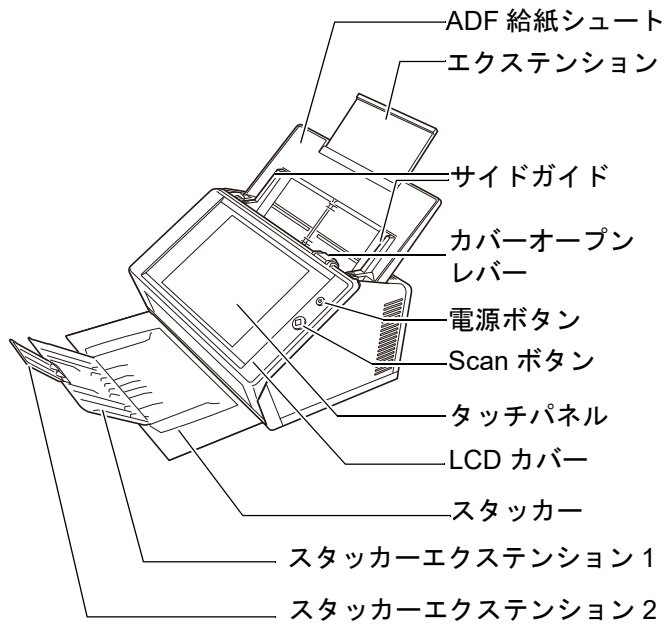
万一、足りないものや不良品がありましたら、スキャナを購入された販社/販売店、またはPFU イメージングサービス & サポートセンター (P.22) に連絡してください。

	スキャナ本体
	AC ケーブル
	AC アダプター
	LAN ケーブル (ストレート)
	スタートアップガイド (本書)
	ご使用の前に
	保証書
	マイクロソフトソフトウェア使用許諾契約書 (Microsoft® Windows® 10 IoT Enterprise 2019 LTSC)
	Image Scanner N7100E/ N7100EA ソフトウェア使用許諾契約書

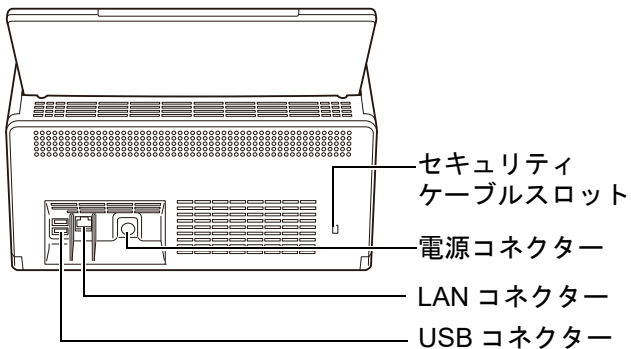
1.3 各部の名称

スキャナの各部の名称について説明します。

■ 前面





■ 背面







1.4 スキャナ上のマーク

スキャナに表示されているマークについて説明します。

■ 前面

	スキャナの電源を投入 / 切断できます。なお、切断は、非常時に強制終了する場合にだけ使用してください。通常の電源切断方法は、オペレーターガイドを参照してください。
	原稿の読み取りを開始できます。

■ 背面

	USB 機器を接続できます。
	LAN コネクタを接続できます。
	直流 (DC) 電源を接続できます。
	セキュリティケーブル (盗難防止用) の取り付けに使用できます。

第2章 スキャナを設置する

2.1 保護用部材を取り外す

スキャナには、保護用の緩衝材と厚紙が、それぞれテープで止められています。スキャナを使用する前に、以下の手順で取り外してください。

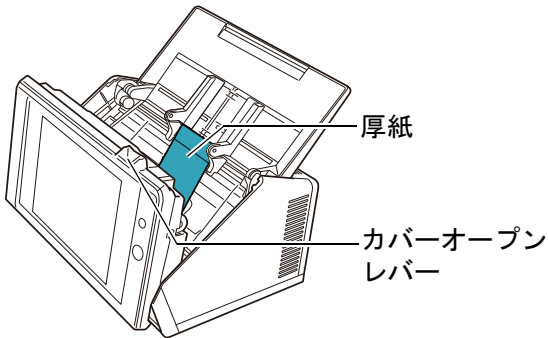
1. タッチパネルを覆っている緩衝材とテープを取り外します。
2. ADF 給紙シュートの背面にあるテープと緩衝材を取り外し、ADF 給紙シュートを奥に倒します。

注意

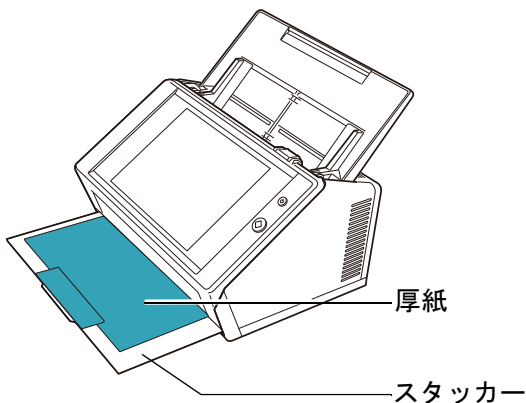


- ADF 給紙シュートを倒すときは、手や指をはさまないように注意してください。
- ADF 給紙シュートは、手前に強く倒さないでください。ADF 給紙シュートが破損し、けがや故障の原因となります。

3. カバーオープンレバーを手前に引いて、LCD カバーを開き、サイドガイドから厚紙とテープを取り外します。



4. スタッカーを手前に引き出して、厚紙とテープを取り外します。



2.2 スキャナを接続する

1. スキャナを設置場所に置きます。

注意



ADF 給紙シュートを持ってスキャナを持ち上げないでください。ADF 給紙シュートが破損してスキャナが落下し、けがや故障の原因となります。

重要

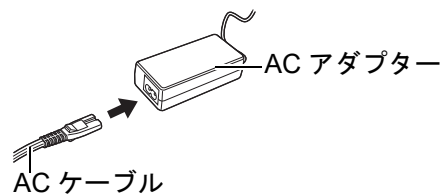
スキャナを設置するために必要なスペースは、以下のとおりです。

- 奥行き :700mm
- 幅 :400mm
- 高さ :500mm

2. AC アダプターと AC ケーブルを接続します。

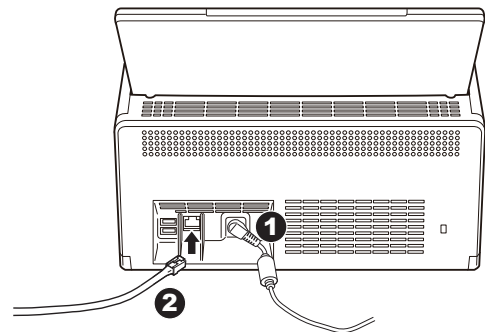
重要

AC アダプターおよび AC ケーブルは、必ず添付のものをお使いください。



3. ケーブルをスキャナに接続します。

- ① AC アダプターのコネクタを、スキャナ本体の電源コネクタに接続します。
- ② LAN ケーブルを LAN コネクタに接続します。



4. LAN ケーブルのもう一方の端をネットワーク HUB に接続します。
5. AC ケーブルを電源コンセントに接続します。
⇒ 通電されますが、スキャナはまだ動作しません。

第3章 導入設定をする

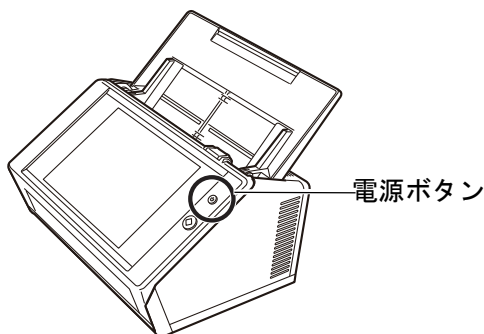
注意



電源を入れたまま持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。スキャナ内部の部品が損傷し、データを消失する原因となります。

ご購入後に、初めてスキャナに電源を入れると、スキャナの導入設定が自動的に開始されます。導入設定では、スキャナの基本的な動作環境を設定できます。

1. スキャナの電源ボタンを押します。



⇒システム起動後、「インストールウィザード」画面が表示されます。


2. 導入設定で設定する項目を選択します。

「インストールウィザード」画面で、設定する項目を選択して、[開始] ボタンを押します。選択する項目のボタンに、軽く触れてください。ここでは、すべての項目を選択した例で説明します。

重要

ペンなどの硬いものでタッチパネルを操作しないでください。タッチパネルが損傷する場合があります。

ヒント

設定項目の詳細は、 を押してヘルプを参照してください。




3. スキャナ名を設定します。

「スキャナ名」画面で、スキャナ名とネットワークへの参加方法を設定して、[次へ] ボタンを押します。

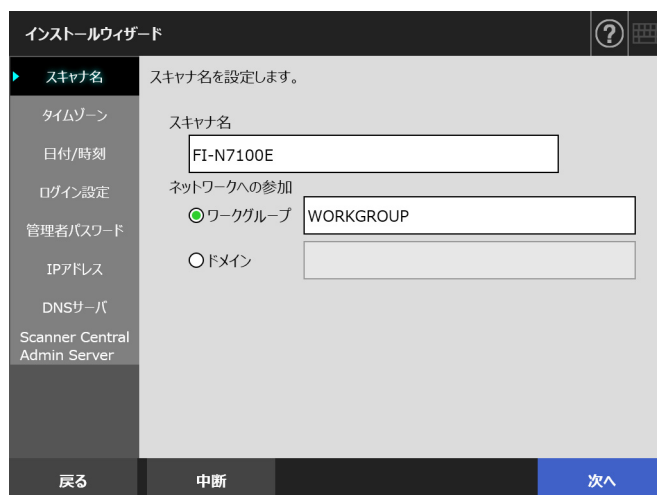
ヒント

- 項目の入力域に軽く触れると、ソフトキーボードが表示



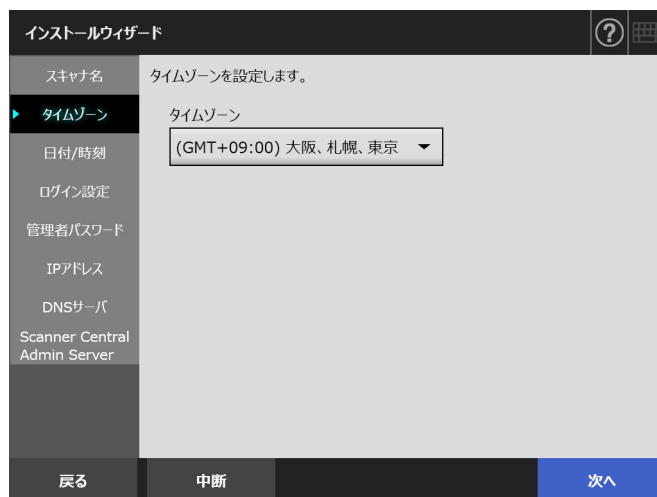
されます。入力が終わったら、 を押してソフトキーボードを非表示にします。

- ソフトキーボードの配列は、オペレーターガイドを参照してください。



4. タイムゾーンを設定します。

「タイムゾーン」画面で、タイムゾーンおよびサマータイムを適用するかどうかを設定して、[次へ] ボタンを押します。



5. 日付と時刻を設定します。

「日付/時刻」画面で、日付書式および現在の日時を設定して、[次へ] ボタンを押します。

The screenshot shows the 'インストールウィザード' (Installation Wizard) window. The '日付/時刻' (Date/Time) step is selected. The 'タイムゾーン' (Time Zone) is set to '日付書式' (Date Format) with a dropdown menu showing 'MMddyyyy'. The '日付/時刻' (Date/Time) field shows '11 / 07 / 2014 18 : 35 : 58' and a '現在時刻取得' (Get Current Time) button. The left sidebar shows the progress: スキャナ名, タイムゾーン, 日付/時刻 (selected), ログイン設定, 管理者パスワード, IPアドレス, DNSサーバ, and Scanner Central Admin Server. At the bottom are buttons for '戻る' (Back), '中断' (Cancel), and '次へ' (Next).

6. ログインに関する設定をします。

「ログイン設定」画面で、ログインに関する設定をして、[次へ] ボタンを押します。

The screenshot shows the 'インストールウィザード' (Installation Wizard) window. The 'ログイン設定' (Login Settings) step is selected. The '認証方法' (Authentication Method) is set to 'LDAP→ローカルアカウント' (LDAP to Local Account). The '自動ログイン' (Auto Login) checkbox is unchecked. The '管理者パスワード' (Admin Password) section has fields for 'ユーザー名' (Username) and 'パスワード' (Password). The 'guestアカウント' (Guest Account) checkbox is checked. The left sidebar shows the progress: スキャナ名, タイムゾーン, 日付/時刻, ログイン設定 (selected), 管理者パスワード, IPアドレス, DNSサーバ, and Scanner Central Admin Server. At the bottom are buttons for '戻る' (Back), '中断' (Cancel), '詳細' (Details), and '次へ' (Next).

7. 管理者パスワードを設定します。

「管理者パスワード」画面で、管理者パスワードを設定して、[次へ] ボタンを押します。
「現パスワード」の初期値は、「password」です。

The screenshot shows the 'インストールウィザード' (Installation Wizard) window. The '管理者パスワード' (Admin Password) step is selected. It has three input fields: '現パスワード' (Current Password), '新パスワード' (New Password), and '確認パスワード' (Confirm Password). A warning message at the bottom states: 'パスワードを紛失すると、ログインできなくなります。変更したパスワードは安全な場所に保管してください。' (If you lose your password, you will not be able to log in. Please store the changed password in a safe place). The left sidebar shows the progress: スキャナ名, タイムゾーン, 日付/時刻, ログイン設定, 管理者パスワード (selected), IPアドレス, DNSサーバ, and Scanner Central Admin Server. At the bottom are buttons for '戻る' (Back), '中断' (Cancel), and '次へ' (Next).

8. スキャナの IP アドレスを設定します。

「IP アドレス」画面で、スキャナの IP アドレスを設定して、[次へ] ボタンを押します。

The screenshot shows the 'インストールウィザード' (Installation Wizard) window. The 'IPアドレス' (IP Address) step is selected. The 'DHCP' checkbox is checked. The 'IPアドレス' (IP Address), 'サブネットマスク' (Subnet Mask), and 'デフォルトゲートウェイ' (Default Gateway) fields are empty. The left sidebar shows the progress: スキャナ名, タイムゾーン, 日付/時刻, ログイン設定, 管理者パスワード, IPアドレス (selected), DNSサーバ, and Scanner Central Admin Server. At the bottom are buttons for '戻る' (Back), '中断' (Cancel), and '次へ' (Next).

重要

DHCP を使用しない場合は、同一ネットワーク内で IP アドレスが重複しないように設定してください。
指定した IP アドレスと同一の IP アドレスが重複して存在している場合は、エラーとなります。

9. DNS サーバを設定します。

「DNS サーバ」画面で、DNS サーバの IP アドレスを設定して、[次へ] ボタンを押します。

The screenshot shows the 'インストールウィザード' (Installation Wizard) window. The 'DNSサーバ' (DNS Server) step is selected. The '優先DNS' (Preferred DNS) and '代替DNS' (Alternate DNS) fields are both set to '0 . 0 . 0 . 0'. The 'DNS動的更新' (DNS Dynamic Updates) checkbox is unchecked. The 'DNSサフィックス' (DNS Suffix) field is empty. The '完全修飾ドメイン名' (Fully Qualified Domain Name) field is set to 'FI-N7100E'. The left sidebar shows the progress: スキャナ名, タイムゾーン, 日付/時刻, ログイン設定, 管理者パスワード, IPアドレス, DNSサーバ (selected), and Scanner Central Admin Server. At the bottom are buttons for '戻る' (Back), '中断' (Cancel), and '次へ' (Next).

ヒント

スキャナがネットワークに接続されていないと、完全修飾ドメイン名 (FQDN 名) が正しく表示されない場合があります。

10. Central Admin Server を設定します。

「Scanner Central Admin Server」画面で、Central Admin Server を使って集中管理をするかどうかと接続情報を設定し、[設定終了] ボタンを押します。

インストールウィザード

スキャナ名: Scanner Central Admin Serverの設定を行います。

タイムゾーン: 集中管理 無効

日付/時刻: アドレス

ログイン設定: ポート番号 (1 - 65535): 20444

管理者パスワード: ユーザー情報共有 無効 ジョブ設定共有 無効

IPアドレス: Scanner Central Admin Serverへの登録状態: 未登録

DNSサーバ: 自動アップデートスケジュール 無効

適用日時: yyyy/MM/dd hh:mm

戻る 中断 詳細 設定終了

ヒント

- スキャナ名やドメイン名を変更した場合は、スキャナが再起動されます。
- 「次回システム起動時にインストールウィザードを表示しますか？」で「しない」を選択すると、次回スキャナを起動した直後に、インストールウィザードを表示しません。

これで導入設定は終了です。

ヒント

- 導入時に設定した内容は、次の方法で変更できます。
- 「インストールウィザード」画面で変更します。
「インストールウィザード」画面は、管理者の画面の「管理メニュー」画面にある [インストールウィザード] ボタンを押すと表示されます。
 - 管理者の画面のメニューから変更します。
なお、管理者の画面の表示方法は、「第4章 ネットワークへの接続状態を確認する」(P.15)を参照してください。

11. 設定内容を確認します。

インストールウィザードの設定確認画面で、装置情報を確認し、[OK] ボタンを押します。

インストールウィザード

装置情報

スキャナ名	FI-N7100E
自動ログイン	しない
IPアドレス (DHCP:有効)	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
優先DNS	192.168.1.1
集中管理	無効

OK: インストールウィザードを終了する
戻る: 設定画面に戻る

次回システム起動時にインストールウィザードを表示しますか？
 する

戻る OK

⇒インストールウィザードが終了し、ログイン画面が表示されます。

ログイン

ユーザー名

パスワード

電源切断 ログイン

Esc q w e r t y u i o p

→ a s d f g h j k l Enter

↑ / z x c v b n m , . ;

&123 Ctrl Alt ¥ @ 無変換 ← ↑ ↓ → A

第4章 ネットワークへの接続状態を確認する

ここでは、ネットワークとの接続状態の確認方法を説明します。

管理者の画面の「Ping」を使うと、ネットワークへの接続ができていないかを確認できます。

1. 管理者のユーザー名とパスワードで、スキヤナにログインします。

ここでは、ユーザー名に「admin」、導入設定で設定したパスワードを入力します。なお、パスワードの初期値は「password」です。



⇒管理者の画面が表示されます。

2. メニューから「ネットワーク状態確認」の「Ping」を選択すると表示される「Ping」画面で、ネットワークへの接続状態を確認します。「アドレス」に接続状態を確認するコンピュータのIPアドレス、ホスト名、または完全修飾ドメイン名(FQDN名)を入力します。



3. [Ping] ボタンを押します。

⇒Ping が実行され、結果が表示されます。

結果については、「Ping 結果とその対処について」(P.17) を参照してください。

4. [ログアウト] ボタンを押して、ログアウトします。

第5章 マニュアルをダウンロードする

本製品には、本書以外に、スキャナの設定や管理、操作方法が記載されているオペレーターガイド（PDF）があります。スキャナを使用するときに読んでください。オペレーターガイドは Adobe Reader で参照してください。Adobe Reader は以下のサイトからダウンロードできます。

<https://www.adobe.com/>

ここでは、マニュアルのダウンロード手順について説明します。

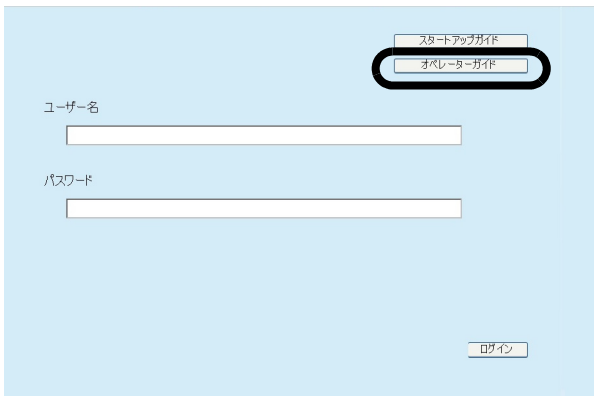
1. マニュアルをダウンロードするコンピュータの Internet Explorer 10 以降 (*) から、スキャナ名または IP アドレスを URL に指定して接続します。

`http:// スキャナ名または IP アドレス /`

⇒ ログイン画面が表示されます。

*: 最新のセキュリティ更新プログラムを適用してください。適用していない場合、マニュアルなどのダウンロードができない場合があります。また、ダウンロードができない場合、Internet Explorer の「インターネットオプション」の「詳細設定」で、「暗号化されたページをディスクに保存しない」チェックボックスのチェックを外して、再度実行してください。Internet Explorer の「互換表示設定」で、指定する URL が互換表示となるように設定してください。

2. [オペレーターガイド] ボタンを押します。



⇒ 以降は、画面の指示に従って、マニュアルをダウンロードしてください。

重要

Adobe Reader をインストールしていない場合、[ファイルを開く] ボタンを押すと、「通信エラー」になることがあります。この場合は、Adobe Reader をインストールしてから、再度操作してください。

付録 A 困ったときには

A.1 ネットワーク通信ができない

■ Ping 結果とその対処について

Ping を使って、ネットワークへの接続ができていないかを確認します。Ping を使った確認方法は、「第 4 章 ネットワークへの接続状態を確認する」(P.15) を参照してください。

Ping 結果に従った対処をしてください。

以下の Ping 応答結果が 4 行表示される。
(あて先の IP アドレス) からの応答: バイト数 = 32 時間 < (時間) ms TTL = (TTL 値)

■ 表示例

XXX.XXX.XXX.XXX からの応答: バイト数 = 32 時間 < 1ms TTL = 128

XXX.XXX.XXX.XXX からの応答: バイト数 = 32 時間 < 1ms TTL = 128

XXX.XXX.XXX.XXX からの応答: バイト数 = 32 時間 < 1ms TTL = 128

XXX.XXX.XXX.XXX からの応答: バイト数 = 32 時間 < 1ms TTL = 128

■ 意味

Ping のあて先アドレスからの応答は正常です。

「ping 統計」情報の損失値
「損失 = 4 (100% の損失)」

■ 意味

- Ping 先に指定した接続確認先との通信ができません。
- ハードウェア上の伝送路異常が発生した可能性があります。例えば、Ping 中に LAN ケーブルが抜けた場合を示しています。

■ 対処方法

- Ping 先が正しく指定されていない可能性があります。Ping 先に指定した IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名が正しく指定されているかを確認してください。
なお、同一セグメント内で存在しない IP アドレスを指定した場合は、「損失 = 0 (0% の損失)」になります。異なるセグメント内で存在しない IP アドレスを指定した場合は、「損失 = 4 (100% の損失)」になります。
- ネットワークの伝送方式が接続相手と一致していない可能性があります。「ネットワーク詳細設定」画面で、「Link Speed/Duplex Mode」を「自動検出」から、固定の Link Speed/Duplex Mode に変更してください。変更方法は以下のとおりです。
 1. 「ネットワーク設定」の「ネットワーク詳細設定」を選択します。
⇒「ネットワーク詳細設定」画面が表示されます。

2. 「Link Speed/Duplex Mode」で、固定の Link Speed/Duplex Mode を選択します。
3. 「設定」ボタンを押します。

- Ping 先が正しく指定されていて、ネットワークの伝送方式も適切な場合は、「IP アドレス指定でスキャナから各サーバにネットワーク通信ができない」(P.18) を参照して、対処してください。
- LAN ケーブルの接続状態を確認、または LAN ケーブルを交換して、再度実行してください。
- HUB に接続している場合は、LAN ケーブルの接続先ポートを変更して、再度実行してください。

「ping 統計」情報の損失値
「損失 = N (1 ~ 99% の損失)」

■ 意味

- Ping 先に指定した接続確認先との通信が安定していません。
- ハードウェア上の伝送路異常が発生した可能性があります。例えば、Ping 中に LAN ケーブルが抜けた場合を示しています。

■ 対処方法

- LAN ケーブルの接続状態を確認、または LAN ケーブルを交換して、再度実行してください。
- HUB に接続している場合は、LAN ケーブルの接続先ポートを変更して、再度実行してください。
- ネットワークの伝送方式が接続相手と一致していない可能性があります。「ネットワーク詳細設定」画面で、「Link Speed/Duplex Mode」を「自動検出」から、固定の Link Speed/Duplex Mode に変更してください。変更方法は以下のとおりです。
 1. 「ネットワーク設定」の「ネットワーク詳細設定」を選択します。
⇒「ネットワーク詳細設定」画面が表示されます。
 2. 「Link Speed/Duplex Mode」で、固定の Link Speed/Duplex Mode を選択します。
 3. 「設定」ボタンを押します。

「ping 要求ではホスト xxxxxxxx が見つかりませんでした。ホスト名を確認してもう一度実行してください。」

■ 意味

Ping 先に指定された接続確認先の名前解決 / アドレス解決に失敗した可能性があります。

■ 対処方法

- Ping 先のホスト名または FQDN 名の指定が誤っていないかを確認してください。
- DNS サーバまたは WINS サーバの設定が誤っていないかを確認してください。
- Ping 先に指定したホスト名または FQDN 名が正しく指定されている場合は、「ホスト名または FQDN 名指定で、スキャナから各サーバにネットワーク通信ができない」(P.19) を参照して、対処してください。

■ IP アドレス指定でスキヤナから各サーバにネットワーク通信ができない

スキヤナから各サーバへ IP アドレスを指定しても接続できない場合、またはスキヤナから Ping を使って、IP アドレスを指定してネットワーク通信テストをしても、各サーバから応答がない場合は、以下の対処をしてください。

各サーバとスキヤナとの接続に誤りがある。または LAN ケーブルに問題がある。

■ 対処方法

スキヤナまたは各サーバに、LAN ケーブルが正しく差し込まれているかを確認してください。
また、各サーバとの接続にストレート仕様の LAN ケーブルを使用している場合は、Auto MDI/MDI-X（自動選択）未サポートのため、スキヤナと各サーバとの間に、クロス LAN ケーブル、スイッチ機器、またはルータ機器のどれかが介在している必要があります。
上記のどれでもない場合は、LAN ケーブルの不良が考えられます。正常に動作した実績がある LAN ケーブルで再度確認してください。

「IP アドレス」画面で設定した内容が間違っている。

■ 対処方法

「IP アドレス」画面で、IP アドレスやサブネットマスクなどの設定内容が正しいかを確認してください。
「IP アドレス」画面は以下の手順で表示します。
1. 「ネットワーク設定」の「IP アドレス」を選択します。

DHCP を使用する場合に、DHCP サーバが正常に動作していない。または、DHCP サーバ側の設定に問題がある。

■ 対処方法

DHCP を使用する場合は、スキヤナの「ネットワーク状態」画面で、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが正しい値になっているかを確認してください。
これらの値が正しく表示されていない場合は、DHCP サーバが正常に動作していない、または DHCP サーバ側の設定（リース数制限や MAC アドレス認証など）により正しく IP アドレスが割り当てられていないことが考えられます。
DHCP サーバの接続状態と DHCP サーバの設定内容を確認してください。
「ネットワーク状態」画面は以下の手順で表示します。
1. 「ネットワーク状態確認」の「ネットワーク状態」を選択します。

スキヤナと同じ IP アドレスを持つホストまたは通信機器が接続されている。

■ 対処方法

スキヤナと同じ IP アドレスを持つホストまたは通信機器と通信した直後に、各サーバの電源を切断しないままスキヤナへ接続し、環境設定を変更した場合は、通信できなくなります。各サーバを再起動してください。
スキヤナと IP アドレスが重複しているホストまたは通信機器が LAN 上に存在すると正しく通信できません。存在している場合は、重複しているホストまたは通信機器の LAN ケーブルを外し、各サーバを再起動してください。

各サーバとスキヤナの間にファイアウォール装置が設置され、アクセスが禁止されている。

■ 対処方法

各サーバとスキヤナの間にファイアウォール装置が設置されている場合は、ファイアウォール装置でアクセスが禁止されていないか確認してください。

スキヤナと各サーバとのネットワークの「Link Speed/Duplex Mode」が異なっている。または、各サーバ側が自動検出に対応していない。

■ 対処方法

スキヤナのネットワークの「Link Speed/Duplex Mode」が、初期値の「自動検出」になっています。
「自動検出」で正しく動作しない場合は、スキヤナと各サーバの Link Speed/Duplex Mode を固定にして再度確認してください。
「ネットワーク詳細設定」画面で、「Link Speed/Duplex Mode」を「自動検出」から、固定の Link Speed/Duplex Mode に変更する方法は以下のとおりです。
1. 「ネットワーク設定」の「ネットワーク詳細設定」を選択します。
⇒「ネットワーク詳細設定」画面が表示されます。
2. 「Link Speed/Duplex Mode」で、固定の Link Speed/Duplex Mode を選択します。
3. 「設定」ボタンを押します。

■ ホスト名または FQDN 名指定で、スキャナから各サーバにネットワーク通信ができない

ホスト名または FQDN 名指定でスキャナから各サーバに、ネットワーク通信しても接続できない場合、またはスキャナから Ping を使って、ホスト名または FQDN 名指定でテストしても各サーバから応答がない場合は、以下の対処をしてください。

「IP アドレス指定でスキャナから各サーバにネットワーク通信ができない」(P.18)と同じ原因。

■ 対処方法

「IP アドレス指定でスキャナから各サーバにネットワーク通信ができない」(P.18)と同じ対処で、ネットワークの通信が可能になっているかを確認してください。

スキャナの DNS サーバまたは WINS サーバの設定が誤っている。

■ 対処方法

スキャナの DNS サーバまたは WINS サーバが正しく設定されているかを確認してください。

DNS サーバまたは WINS サーバが正常に動作していない。または、DNS サーバまたは WINS サーバまでのネットワーク経路に異常が発生した。

■ 対処方法

DNS サーバまたは WINS サーバが正常に動作しているかを、Ping で確認してください。
DNS サーバまたは WINS サーバが動作していない場合は、ネットワーク管理者にサーバの状況を確認してください。

■ Internet Explorer・Admin Tool・Central Admin Server・User Editor からスキャナにアクセスできない

Internet Explorer・Admin Tool・Central Admin Server・User Editor からスキャナにアクセスできない場合は、以下の対処をしてください。

「IP アドレス指定でスキャナから各サーバにネットワーク通信ができない」(P.18)と同じ原因。

■ 対処方法

「IP アドレス指定でスキャナから各サーバにネットワーク通信ができない」(P.18)と同じ対処で、ネットワークの通信が可能になっているかを確認してください。

DNS サーバ、WINS サーバが正常に動作していない。または、DNS サーバや WINS サーバにスキャナのスキナ名が登録されていない。

■ 対処方法

IP アドレスを指定して接続確認してください。
IP アドレスを指定してネットワーク接続できた場合は、スキャナのスキナ名の IP アドレスを DNS サーバ、または WINS サーバに登録してください。
スキャナの管理者設定で、DNS サーバおよび WINS サーバが正しく設定されているかを確認してください。

Internet Explorer、Admin Tool、または User Editor がインストールされたコンピュータと、スキャナの間にはファイアウォール装置が設置され、HTTP/HTTPS プロトコルでのスキャナへのアクセスが禁止されている。

■ 対処方法

Internet Explorer、Admin Tool、または User Editor がインストールされたコンピュータと、スキャナの間にはファイアウォール装置が設置されている場合は、ファイアウォール装置でアクセスが禁止されていないかを確認してください。

対象スキャナの URL が信頼済みサイトに設定されていない。

■ 対処方法

Internet Explorer の信頼済みサイトに、対象スキャナの URL を設定してください。

1. Internet Explorer で、「ツール」メニュー→「インターネットオプション」を選択します。
2. 「セキュリティ」タブの「信頼済みサイト」を選択して、[サイト] ボタンを押します。
3. 「この Web サイトをゾーンに追加する」に対象スキャナの URL を入力して、[追加] ボタンを押します。

Internet Explorer で、「ツール」メニューの「インターネットオプション」にある「セキュリティ」タブで、該当するゾーンのセキュリティレベルが「高」に設定されている。
または、「レベルのカスタマイズ」で「設定」の「スクリプト」の「アクティブスクリプト」が「ダイアログを表示する」または「無効にする」に設定されている。

■ 対処方法

スキャナ名で接続した場合は、イントラネットゾーンでの接続になります。また、IP アドレスで接続した場合は、インターネットゾーンでの接続になります。以下の方法で、対象のゾーンを設定してください。

1. Internet Explorer で、「ツール」メニュー→「インターネットオプション」を選択します。
2. 以下のどれかの方法で、アクティブスクリプトを有効にします。
 - 「セキュリティ」タブの [既定のレベル] ボタンを押して、「このゾーンのセキュリティのレベル」を「中」にします。
 - 「セキュリティ」タブの [レベルのカスタマイズ] ボタンを押して、「設定」の「スクリプト」の「アクティブスクリプト」を「有効にする」にします。
3. インターネットゾーンの場合は、「プライバシー」タブで、設定を「中-高」以下にします。
4. インターネット一時ファイルを削除します。詳細は、Internet Explorer のヘルプを参照してください。

スキャナが省電力モードになっている。

■ 対処方法

電源ボタンを押して、スキャナを起動してください。

プロキシサーバを使用している。

■ 対処方法

プロキシサーバを使用しない設定にしてください。

1. Internet Explorer で、「ツール」メニュー→「インターネットオプション」を選択します。
2. 「接続」タブの [LAN の設定] ボタンを押します。
3. 「LAN にプロキシサーバを使用する（これらの設定はダイヤルアップまたは VPN 接続には適用されません）」チェックボックスのチェックを外します。

接続プロトコルの指定に誤りがある。

■ 対処方法（本体）

「接続設定」画面で SSL 通信の使用の有無を確認してください。

「接続設定」画面は以下の手順で表示します。

1. 「ネットワーク管理」の「接続設定」を選択します。

■ 対処方法（Internet Explorer、Admin Tool、または User Editor がインストールされたコンピュータ）

1. Internet Explorer で、「ツール」メニュー→「インターネットオプション」を選択します。
2. 「詳細設定」タブを押します。
3. 「設定」の「セキュリティ」で、以下の項目のチェックボックスを、本体の設定（「接続設定」画面の「SSL 暗号設定」）に合わせてチェックを付けます。
 - 「SSL 3.0 を使用する」
 - 「TLS 1.0 を使用する」
 - 「TLS 1.1 の使用」
 - 「TLS 1.2 の使用」

ポート番号の指定に誤りがある。

■ 対処方法

「接続設定」画面で指定したポート番号を指定してください。

「接続設定」画面は以下の手順で表示します。

1. 「ネットワーク管理」の「接続設定」を選択します。

A.2 電源が入らない

電源が入らない。

■ 確認事項

電源ボタンを押しましたか？

■ 対処方法

電源ボタンを押してください。

■ 確認事項

AC アダプターおよび AC ケーブルが正しく接続されていますか？

■ 対処方法

- AC アダプターおよび AC ケーブルを正しく接続してください。
- AC ケーブルを抜いて一度電源を切断し、再び AC ケーブルを接続してください。電源を切断したあと、電源を入れる場合は、10 秒以上時間を空けてください。
この方法を試しても電源が入らない場合は、スキャナを購入された弊社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンター (P.22) に連絡してください。

A.3 ログインできない

管理者パスワードでログインできない。

■ 確認事項

パスワード入力時に Caps Lock がかかっていませんか？

■ 対処方法

Caps Lock を解除してもう一度ログインしてください。

■ 確認事項

パスワードを変更しましたか？

■ 対処方法

パスワードの初期値は「password」です。
変更したパスワードを紛失したり、忘れてしまうと、ログインできなくなります。
その場合は、修理対応となります。
スキャナを購入された弊社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンター (P.22) に連絡してください。

修理・お問い合わせ

■ 修理サービスのご案内

当社では、お客様に安心して本製品をご使用いただけるよう、万全のサポート体制を整えています。購入時にご加入いただく契約サービスと、必要なときにその都度ご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強力にバックアップいたします。

契約サービス

事前に契約を結んでいただくことで、ご購入後も万全のサポートを提供いたします。

- 定額定期保守サービス
年に1度予防保守を行います。万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにおうかがいして保守修理作業を実施します。
- 定額訪問修理サービス
万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにおうかがいして保守修理作業を実施します。

スポットサービス

必要なときに、その都度ご利用いただけます。

- 訪問修理（有償）(*1)
本製品の故障発生時にご連絡いただくと、その後、サービスエンジニアが直接修理にうかがいます。
 - 持込 / センドバック修理（有償）(*2) (*3)
本製品の故障発生時にお客様の製品を当社の修理センターで修理します。
 - 付加サービス
センドバック修理には、次の付加サービスがあります。
 - (1) 引き取り修理サービス（有償）(*1)
 - (2) 代替機サービス（有償）(*1) (*4)
- *1：保証期間中の場合も有償となります。
*2：保証期間内に正常な使用状態で故障した場合は、無償で修理いたします。
*3：センドバック修理で診断を行い交換部品が高額などの理由で修理をキャンセルされた場合は診断料が必要になりますので注意してください。
*4：代替機サービスは、引き取り修理サービスとの併用でご利用できます。代替機サービスだけではご利用いただけません。

詳細はホームページをご覧ください。
<https://www.pfu.ricoh.com/imaging/contact.html>

本サービスは、予告なく変更される場合があります。詳細は、当社ホームページでご確認いただくか、株式会社PFU イメージング サービス&サポートセンターにお問い合わせください。

重要

- 本製品の修理はお客様自身で行わないでください。
- 本製品の保証条件は同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。
- 本製品の修理部品の供給期間は製造中止後5年間です。

ヒント

保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無償で修理いたします。
保証期間については、保証書を参照してください。

■ お問い合わせ窓口

お客様からの本製品全般に関する操作や故障・トラブルのお問い合わせに迅速に対応いたします。故障・トラブルのお問い合わせのときは、オペレーターガイドの「サービスセンターに連絡する前に」を参考に必要事項を確認してください。

株式会社 PFU
イメージング サービス&サポートセンター

お問い合わせ先
以下のホームページをご覧ください。
<https://www.pfu.ricoh.com/imaging/contact.html>



■ サプライ用品の購入先

スキャナの清掃方法と消耗品の交換方法については、オペレーターガイドの「スキャナのお手入れ」を参照してください。清掃用品や消耗品のお問い合わせやご購入については、本製品を購入された販社 / 販売店または株式会社 PFU PFU ダイレクトにお問い合わせください。

株式会社 PFU PFU ダイレクト

お問い合わせ先
以下のホームページをご覧ください。
<https://www.pfu.ricoh.com/direct/>



コピーライイト

WinPcap

Copyright © 1999 - 2005 NetGroup, Politecnico di Torino (Italy).
Copyright © 2005 - 2010 CACE Technologies, Davis (California).
Copyright © 2010 - 2013 Riverbed Technology, San Francisco (California).
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the Politecnico di Torino, CACE Technologies, Riverbed Technology nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.

This product includes software developed by the Kungliga Tekniska Högskolan and its contributors.

This product includes software developed by Yen Yen Lim and North Dakota State University.

Portions Copyright © 1990, 1991, 1992, 1993, 1994, 1995, 1996, 1997 The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors."
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE INSTITUTE AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Portions Copyright © 1983 Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Portions Copyright © 1995, 1996, 1997 Kungliga Tekniska Högskolan (Royal Institute of Technology, Stockholm, Sweden).
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes software developed by the Kungliga Tekniska Högskolan and its contributors."
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE INSTITUTE AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE INSTITUTE OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Portions Copyright © 1997 Yen Yen Lim and North Dakota State University.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes software developed by Yen Yen Lim and North Dakota State University"
4. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Portions Copyright © 1993 by Digital Equipment Corporation.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies, and that the name of Digital Equipment Corporation not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the document or software without specific, written prior permission.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND DIGITAL EQUIPMENT CORP. DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL DIGITAL EQUIPMENT CORPORATION BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT,

NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Portions Copyright © 1995, 1996, 1997, 1998, and 1999 WIDE Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PROJECT AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Portions Copyright © 1996 Juniper Networks, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that: (1) source code distributions retain the above copyright notice and this paragraph in its entirety, (2) distributions including binary code include the above copyright notice and this paragraph in its entirety in the documentation or other materials provided with the distribution.

The name of Juniper Networks may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Portions Copyright © 2001 Daniel Hartmeier. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Portions Copyright 1989 by Carnegie Mellon.

Permission to use, copy, modify, and distribute this program for any purpose and without fee is hereby granted, provided that this copyright and permission notice appear on all copies and supporting documentation, the name of Carnegie Mellon not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the program without specific prior permission, and notice be given in supporting documentation that copying and distribution is by permission of Carnegie Mellon and Stanford University. Carnegie Mellon makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

WinDump

Copyright © 1999 - 2005 NetGroup, Politecnico di Torino (Italy).
Copyright © 2005 - 2006 CACE Technologies, Davis (California).
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the Politecnico di Torino, CACE Technologies nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.

Secure iNetSuite

Copyright© 2008 - 2013 Dart Communications

OpenCV/OpenCvSharp

Copyright (c) 2017, shimat
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the copyright holder nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

OpenSSL

In accordance with the license terms of the above software, it shows the licensing statement below.

Licensing conditions: <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Tesseract

In accordance with the license terms of the above software, it shows the licensing statement below.

Licensing conditions: <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

OpenCV 4.5.x

In accordance with the license terms of the above software, it shows the licensing statement below.

Licensing conditions: <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

jbig2ec

In accordance with the license terms of the above software, it shows the licensing statement below.

Licensing conditions: <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Adobe XMP Toolkit SDK 2014.12

In accordance with the license terms of the above software, it shows the licensing statement below.

The BSD License

Copyright© 1999 - 2014, Adobe Systems Incorporated All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Adobe Systems Incorporated, nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

OpenJPEG

In accordance with the license terms of the above software, it shows the licensing statement below.

The copyright in this software is being made available under the 2-clauses BSD License, included below. This software may be subject to other third party and contributor rights, including patent rights, and no such rights are granted under this license.

Copyright© 2002-2014, Universite catholique de Louvain (UCL), Belgium

Copyright© 2002-2014, Professor Benoit Macq

Copyright© 2003-2014, Antonin Descampe

Copyright© 2003-2009, Francois-Olivier Devaux

Copyright© 2005, Herve Drolon, FreeImage Team

Copyright© 2002-2003, Yannick Verschueren

Copyright© 2001-2003, David Janssens

Copyright© 2011-2012, Centre National d'Etudes Spatiales (CNES), France

Copyright© 2012, CS Systemes d'Information, France

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;

LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Libtiff 3.4-3.9.4

In accordance with the license terms of the above software, it shows the licensing statement below.

Use and Copyright

Copyright© 1988-1997 Sam Leffler

Copyright© 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Zlib

In accordance with the license terms of the above software, it shows the licensing statement below.

ZLIB DATA COMPRESSION LIBRARY

zlib 1.2.12 is a general purpose data compression library. All the code is thread safe. The data format used by the zlib library is described by RFCs (Request for Comments) 1950 to 1952 in the files <http://tools.ietf.org/html/rfc1950> (zlib format), [rfc1951](http://tools.ietf.org/html/rfc1951) (deflate format) and [rfc1952](http://tools.ietf.org/html/rfc1952) (gzip format).

All functions of the compression library are documented in the file `zlib.h` (volunteer to write man pages welcome, contact zlib@gzip.org). A usage example of the library is given in the file `test/example.c` which also tests that the library is working correctly. Another example is given in the file `test/minigzip.c`. The compression library itself is composed of all source files in the root directory.

To compile all files and run the test program, follow the instructions given at the top of `Makefile.in`. In short `./configure; make test`, and if that goes well, `"make install"` should work for most flavors of Unix. For Windows, use one of the special makefiles in `win32/` or `contrib/vstudio/`. For VMS, use `make_vms.com`.

Questions about zlib should be sent to [<zlib@gzip.org>](mailto:zlib@gzip.org), or to Gilles Vollant [<info@winimage.com>](mailto:info@winimage.com) for the Windows DLL version. The zlib home page is <http://zlib.net/>. Before reporting a problem, please check this site to verify that you have the latest version of zlib; otherwise get the latest version and check whether the problem still exists or not.

PLEASE read the zlib FAQ http://zlib.net/zlib_faq.html before asking for help.

Mark Nelson [<markn@ieee.org>](mailto:markn@ieee.org) wrote an article about zlib for the Jan. 1997 issue of Dr. Dobbs's Journal; a copy of the article is available at <http://marknelson.us/1997/01/01/zlib-engine/>.

The changes made in version 1.2.12 are documented in the file `ChangeLog`.

Unsupported third party contributions are provided in directory `contrib/`.

zlib is available in Java using the `java.util.zip` package, documented at <http://java.sun.com/developer/technicalArticles/Programming/compression/>.

A Perl interface to zlib written by Paul Marquess [<pmqs@cpan.org>](mailto:pmqs@cpan.org) is available at CPAN (Comprehensive Perl Archive Network) sites, including <http://search.cpan.org/~pmqs/IO-Compress-Zlib/>.

A Python interface to zlib written by A.M. Kuchling [<amk@amk.ca>](mailto:amk@amk.ca) is available in Python 1.5 and later versions, see <http://docs.python.org/library/zlib.html>.

zlib is built into tcl: <http://wiki.tcl.tk/4610>.

An experimental package to read and write files in .zip format, written on top of zlib by Gilles Vollant [<info@winimage.com>](mailto:info@winimage.com), is available in the `contrib/minizip` directory of zlib.

Notes for some targets:

- For Windows DLL versions, please see win32/DLL_FAQ.txt
- For 64-bit Irix, deflate.c must be compiled without any optimization. With -O, one libpng test fails. The test works in 32 bit mode (with the -n32 compiler flag). The compiler bug has been reported to SGI.
- zlib doesn't work with gcc 2.6.3 on a DEC 3000/300LX under OSF/1 2.1 it works when compiled with cc.
- On Digital Unix 4.0D (formerly OSF/1) on AlphaServer, the cc option -std1 is necessary to get gzprintf working correctly. This is done by configure.
- zlib doesn't work on HP-UX 9.05 with some versions of /bin/cc. It works with other compilers. Use "make test" to check your compiler.
- gzdopen is not supported on RISCOS or BEOS.
- For PalmOs, see <http://palmzlib.sourceforge.net/>

Acknowledgments:

The deflate format used by zlib was defined by Phil Katz. The deflate and zlib specifications were written by L. Peter Deutsch. Thanks to all the people who reported problems and suggested various improvements in zlib; they are too numerous to cite here.

Copyright notice:

©1995-2022 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler
jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

If you use the zlib library in a product, we would appreciate *not* receiving lengthy legal documents to sign. The sources are provided for free but without warranty of any kind. The library has been entirely written by Jean-loup Gailly and Mark Adler; it does not include third-party code. We make all contributions to and distributions of this project solely in our personal capacity, and are not conveying any rights to any intellectual property of any third parties.

If you redistribute modified sources, we would appreciate that you include in the file ChangeLog history information documenting your changes. Please read the FAQ for more information on the distribution of modified source versions.

libjpeg-turbo

In accordance with the license terms of the above software, it shows the licensing statement below.

libjpeg-turbo is covered by three compatible BSD-style open source licenses:

The IJG (Independent JPEG Group) License:

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated.

GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated.

The Modified (3-clause) BSD License:

Copyright© 2009-2022 D. R. Commander. All Rights Reserved.
Copyright© 2015 Viktor Szathmáry. All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of the libjpeg-turbo Project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS", AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR

CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The zlib License:

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.